

※ 青森県第3区の区域は、弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市、西津軽郡、中津軽郡、南津軽郡、北津軽郡です。

(1)

・コンビニエンスストア 店長
(略歴)

小・中学校や高校の安易な統廃合は慎重に

地域に長年に渡ってとけこんだ小中学校や高校の統廃合が推進されていますが、慎重であるべきだと思います。まず、小中学校や高校は子ども達の学び舎であるのみならず、地域のコミュニティの拠点であると考えます。地域の拠点が無くなる事によりその地域の衰退は加速します。地域の商店や飲食店などにも経済的な打撃を与えます。極力、統廃合をせずに、存続をする事に全力を尽くしたいと思います。

買い物難民の問題

津軽地域の山間部や沿岸部では、買い物難民が深刻な問題です。近くにスーパーやコンビニがなく、日用品や食料を買うのに車で1時間以上かかる人々が多く、大変困っているとの声が多数ありました。これを受け、コンビニ誘致や移動販売の拡充を進める政策を実現します。

抜本的な少子化対策

子どもを3人以上産んだら税金半額、5人以上産んだら年金を上乗せするなどの極端な優遇政策を実施しなければ、深刻な少子化問題は解決できないと考えます。時には批判を覚悟で、これまでにない発想で少子化対策に取り組んで参ります。

経済対策

「失われた30年間」と言われますが、日本経済は30年どころか40年の長きにわたり停滞したままです。所得は横ばいであるにもかかわらず消費税や社会保険料は上がる一方であったため、可処分所得は減る一方です。また、昨今の物価高がさらに人々の生活に追い打ちをかけています。抜本的に解決するには、まずは消費税の減税が急務です。消費税の減税を実現するために全力を尽くします。



日本維新の会 公認
ながさか じゅんや
長坂 じゅんや
48歳

RE:BORN あおもり
あなたとともに歩む

地方と日本を
よくするために
政策6本柱

新たな始まり 信頼できる正しい政治へ。

子どもたちに
確かな未来を



01 生活応援！
国民所得の底上げ

非正規・男女の処遇格差是正、雇用の正規化・労働条件向上。食料品減税の実施。中小零細企業への支援・社会保険料軽減を進め、最低賃金を段階的に1,500円へ。物価上昇に負けない安心の年金制度実現。

02 地域コミュニティ再生
強い経済に向けて

農林漁業に就労しやすい仕組みづくり、移住促進、中山間地域を含む地域コミュニティの再生。観光人材の育成、観光資源の高付加価値化。先端産業の立地促進、企業のデジタル化・グリーン化。

03 教育の無償化と
教育環境の整備

国立大学の授業料を段階的に無償化、私立・専門学校も同程度軽減。給付型奨学金を拡充。インクルーシブ教育実現。発達障がい児への理解、専任教員配置、手厚いサポート実現。大学研究予算の拡充。

04 徹底的な政治改革

「企業団体献金の禁止」「政策活動費の禁止」「企業・団体によるパーティ券購入禁止」「連座制の強化」、調査研究広報滞在費（旧文通費）の透明化、国会議員の世襲制限、政治団体（政治資金）の世襲禁止。

05 支え合い多様性を
認め合う共生社会

「災害に強い国づくり」を最重要課題に位置付け、即応体制の整備、専門人材の育成、恒常的な備えを強化。ジェンダー平等、ハラスメント禁止、選択的夫婦別姓制度を実現。同性婚を法制上可能とする。

06 安全保障政策の
展開

日米同盟を基軸とし、基本的な価値を共有する国々と連携強化。自衛隊員の処遇向上、施設整備改善。平和国家として専守防衛に徹する。新領域・継戦能力強化。日米地位協定の見直し。防衛増税はしない。

比例代表は
立憲民主党

岡田はなこ動画配信中！

岡田はなこ Official site
<https://teamhanainfo.wixsite.com/hanako-okada>

岡田はなこ事務所 〒036-8022 弘前市宣町 39-1
(立憲民主党青森県第3区総支部) ☎ 0172-40-4062 / FAX 0172-40-4063



プロフィール

・1980年弘前市福村に生まれる・弘前高校卒、北海道大学法学部卒、広島大学法科大学院法務研究科修了・弁護士・AGC株式会社法務部事業支援グループシニアマネージャー・同社経営企画本部戦略企画部事業グループシニアマネージャー

誰もがいきいき 生きるために。



おかだ
立憲民主党公認(44歳)
岡田はなこ

未来への架け橋

◆プロフィール◆

＜経歴＞
・1967(昭和42)年12月16日藤崎町に生まれる
・藤崎町立藤崎小学校、藤崎中学校卒業 ・中央大学法学部法律学科卒業
・青森県立弘前高等学校卒業 ・(元)青森県職員、行政書士、防災士
家族：妻と二人の子ども
尊敬する人／白洲次郎
好きな言葉／風雪人を磨く 好きな食べ物／けの汁・納豆・りんご
趣味／筋トレ・ジョギング・映画鑑賞・落語

＜内閣＞
・(元)防衛大臣政務官(兼)内閣府大臣政務官
・(元)国土交通大臣政務官

＜所属委員会＞
・議院運営委員会 ・文部科学委員会
・原子力問題調査特別委員会

＜自民党＞
・商工・中小企業関係団体委員会副委員長
・人口急減地域対策議員連盟事務局次長
・鳥獣被害対策特別委員会事務局次長
・地域金融議員連盟事務局次長 ほか



CREATE OUR FUTURE



比例代表も
自民党へ

1 未来を担う人を創る

- 妊娠前から高等教育期における切れ目のない支援
- 構造的な賃上げや若年世代の待遇改善、世代を超えた再就職等の支援
- 伝統芸能やお祭りの維持・継承に向けた支援
- 抜本的な研究力向上とサイエンス人材の育成

2 希望に満ちたふるさとを創る

- 中小企業のDX化・事業承継などへの支援
- 農林水産業の担い手育成と所得向上に向けた生産向上・基盤整備の推進
- 地域の実情の応じた、公共交通の維持・確保と、観光地・観光産業の再生・高付加価値化

3 安全・安心な国を創る

- 基礎年金の受給額の底上げ
- 障害福祉サービスの確保、障害者の就労・生活支援の推進
- 災害に屈しない国土づくり・地域防災力の強化
- 防衛力の強化・自衛隊の憲法明記と隊員の処遇改善

～共に、創る 未来へ～

私の決意

これまでの歩みのほとんどを、生まれ育った津軽で過ごしてきました。二十六年余に及んだ県庁職員時代、県内四十市町村をくまなく回り、県民や市町村職員の皆様とふれあってきたことは、かけがえのない財産です。「地方こそ、国の礎」
待たなしの人口減少・少子高齢化対策を、果敢に推し進めて参ります。現下の物価高や、農林水産業における生産性・所得向上に向けた支援や、中小企業の経営安定化などへの対策を進めるとともに、それらを支える地域金融機関の取組みを後押しして参ります。
「この国を守り抜く」ため、力強い外交の展開、安全保障体制の強化、災害に強い国土づくりを進めて参ります。
安心して生み育てられる環境整備と教育の充実、また、人生百年時代を見据えた、持続可能な「全世代型社会保障制度」を構築し、皆さまが安らぎのある暮らしをしていけるよう、「未来への架け橋」として全身全霊を注いで参ります。
皆様からの温かいご支援を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。



自民党公認
じろう
木村次郎
衆議院議員二期

※ 青森県第3区の区域は、弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市、西津軽郡、中津軽郡、南津軽郡、北津軽郡です。

生活し続けられる青森に

- 01 暮らしを充実させる世帯年収の実現へ
- 02 青森の未来に希望のともしびを
- 03 おじいちゃん、おばあちゃんがいつまでも安心して
幸せに暮らせる青森に
- 04 生活に必要なエネルギー等（電気、ガス、水道）を
全額国庫負担とする。
- 05 世界に輝く青森、未来を担う子供たちに質の高い教育を

プロフィール

昭和61年 青森県五所川原市 生まれ育ち（38歳）
 経歴 伊吹文明衆議院議長 政策担当秘書 国政在職十一年間
 学歴 五所川原市立毘沙門小学校 卒業
 五所川原市立五所川原第四中学校 卒業
 青森県立五所川原高等学校普通科 卒業
 立命館大学法学部法学科 卒業（法学士）
 立命館大学大学院公務研究科 修了（公務修士）
 役職他 青森県霞が関友の会事務局長
 東京青森県人会 常任理事 等



公式ホームページ
www.sonota-toshikazu.com

其田寿一の思い

青森の課題は、ひとえに世帯年収の少なさです。青森の平均年収は約三十七万円（二〇一九年厚生労働省賃金構造基本統計調査）となっており、全国四十七都道府県で最下位です。青森と似た田園風景がある京都や三重ですら年収五〇〇万円弱であり、その開きを政策課題として放置してきたツケをこれから挽回していかなければなりません。青森における平均年収五〇〇万円を目標とし、家族が安心して暮らせる生活費を確保できるよう、国予算の十分な確保、その予算を活用した次につながる事業への支援を柱に、経営者も労働者も総じて充実した生活を送れる青森にいたします。自由に使えるお金が世帯に増えれば、お子さんにより充実したご飯を食べさせられ、共働きせずともどちらか一方が家庭でしっかり子育てに専念でき、またおじいちゃん・おばあちゃんを、ご家族でお家でお世話しながらも一緒に幸せな生活を送ることができます。

そしてわざわざ仙台や東京にいかずとも、生まれ育った青森の地で広い豊かな環境のもと、青森で十分な所得を得ながら終身にわたり生活し続けられます。県民の皆さまも一方お一方、また政党ごとにお考えは異なるとは思います。ですが、何が青森にとってプラスになるのか、政党党派を越え、熟慮議論し、協力して国民である青森県民の皆さまの利益に繋がる政策を国会議員が創り、確実に実行すべきだと考えます。

津軽再活性化のために国政へ



そのた
としかず
無所属 38歳

衆議院議員 総選挙

最高裁判所裁判官国民審査

投票日

10月27日

●投票時間
午前7時～午後8時

ただし、一部の投票所については、投票時間を変更していますので、ご注意ください。



投票の方法

① 小選挙区選出議員選挙

投票用紙（水色）には、「候補者の氏名」を記入してください。
※ 候補者の氏名以外の事を記入すると無効になる場合があります。

② 比例代表選出議員選挙の投票方法

投票用紙（ピンク色）には、「政党等の名称又は略称」を記入してください。
※ 政党等の名称又は略称以外の事を記入すると無効になる場合があります。

③ 国民審査の投票方法

- 投票用紙（うぐいす色）には、やめさせた方がよいと思う裁判官について、氏名の上の欄に「×」を書いてください。やめさせなくてよいと思う裁判官については、何も書かないでください。
- 投票用紙に○、◎、□、レ、◆等を記載するとその投票は無効となります。
- 投票したくない方は、投票用紙を受け取らないでください。
- 投票用紙を受け取った後でも、投票したくない方は、投票箱には入れずに投票用紙を係員に返却してください。

期日前投票

10月16日（水）～10月26日（土）
午前8時30分～午後8時

投票日に用事があるなどの理由で投票できない方は、各市役所・町村役場などで期日前投票をすることができます。一部の期日前投票所では、投票時間を変更していますので、ご注意ください。期日前投票所の一覧は、青森県選挙管理委員会のホームページに掲載しています。

衆議院小選挙区選出議員選挙の選挙区について

- 【第1区】青森市、むつ市、東津軽郡、上北郡（野辺地町、横浜町、六ヶ所村）、下北郡
- 【第2区】八戸市、十和田市、三沢市、上北郡（七戸町、六戸町、東北町、おいらせ町）、三戸郡
- 【第3区】弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市、西津軽郡、中津軽郡、南津軽郡、北津軽郡